

授業科目名 <英訳>	民俗学II Folklore Studies II		担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 助教 菊地 暁			
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義
開講年度・ 開講期	2018・前期	曜時限	水4	配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】							
民俗とは、普通の人々が日々の生活のなかから創り上げ、受け伝えてきたコトバ、モノ、ワザといったものの総体である。そして民俗学とは、そのような民俗を、文献には決して書き残されることのない普通の人々の歴史を探る糸口として発見した学問である。本講義は、民俗学の目的と方法を、その創始者・柳田国男(1875 - 1962)の生涯に即して説明した上で、人生儀礼、信仰・祭礼・芸能、口頭伝承、等々の個別分野を論じる予定である。							
【到達目標】							
民俗学の基本的な考え方を理解し、聞き書きなどの初歩的な実践方法を習得することを目指す。							
【授業計画と内容】							
1．使用上の注意 2．柳田国男の生涯 3．民俗学の方法 4．そだつ 人生儀礼 5．めとる 婚姻 6．とむらう 葬送 7．期末レポート作成の注意1 8．いのる 信仰 9．まつる 年中行事 10．おどる 民俗芸能 11．期末レポート作成の注意2 12．つたえる 口頭伝承1 13．なづける 口頭伝承2 14．ものがたる 口頭伝承3 15．まとめ(フィードバック)							
【履修要件】							
特になし							
【成績評価の方法・観点及び達成度】							
授業中に課すミニ・レポート(40点)および期末レポート(60点)によって評価する。							
【教科書】							
使用しない							
----- 民俗学II(2)へ続く -----							

民俗学II(2)

[参考書等]

(参考書)

菊地暁 『柳田国男と民俗学の近代 - 奥能登のアエノコトの二十世紀 - 』 (吉川弘文館) ISBN:978-4642075442

菊地暁 [編] 『身体論のすすめ』 (丸善) ISBN:978-4621075982

高取正男 『日本的思考の原型 - 民俗学の視角 - 』 (講談社学術文庫) ISBN:978-4061158061

[授業外学習(予習・復習)等]

- ・履修前には、十数年分の「人生経験」があればよい。
- ・授業後に、講義内容に関連して各自の生活体験を報告する「ミニ・レポート」が課される。「簡単に済ませようと思う」なら10分とかからず作成可能である。
- ・期末レポートでは初歩的な「聞き書き」が課される。これも「簡単に済ませようと思う」なら1時間程度の調査と半日程度の文章作成で可能である。
- ・もちろん、「簡単に済ませようと思わない」ならこの限りではない。そして学問とは、むしろそのような営みであるはずだ。

[その他(オフィスアワー等)]

「民俗学」と「民俗学」のどちらを先に受講しても特に問題はない。衣食住、経済生活、社会組織を扱う「民俗学」は来年度開講の予定である。

知的好奇心の旺盛な受講生を歓迎する。というのも、民俗学とは、私たち一人一人の生活体験を起点として、どこまでも具体的な事実の積み重ねから、日々の現実を成り立たせている歴史 = 社会のありかたを考える学問であり、それゆえ、取り扱う対象には際限がないからだ。